

= ゆるがされない ～ 十字架のもとで静まる =

1 揺るがされないために静まる。ヘブル 12:26-29

キリスト者ではない者達は静まるができない。イザヤ 57:20-21

多くの者は主に頼っているつもり。自己の要求を優先している。イザヤ 48:1-2

2. ポイントは御国の拡大。その中心は、十字架 黙 21-22 章

十字架の死が常に基本。II コリ 4:10、ルカ 9:23-24

自分を優先させようとする魂は、気付かないうちにその頭をもたげてくる

ピリピ 3:18-19 ヘブル 6:6

十字架によって自分優先を抑えるか、自分優先で罪の奴隷になるか ローマ 6:16

3. 一人ひとりの死によって、いのちがまわりの人々のうちで働く。II コリ 4:8-12

4. 例：出エジプト 出 14-17 章

① マラでのつぶやき 出 15:23-

② シンでのつぶやき 出 16:2-

③ メリバの泉とアマレクとの戦い 出 17: 1 -

#### 結論

詩篇 131:1 主よ。私の心は誇らず、私の目は高ぶりません。及びもつかない大きなことや、奇しいことに、私は深入りしません。

131:2 まことに私は、自分のたましいを和らげ、静めました。乳離れした子が母親の前にいるように、私のたましいは乳離れした子のように御前におります。

131:3 イスラエルよ。今よりとこしえまで主を待て。